





10年周期で同窓会を開いてもらっておりますが、2年ほど延びてしまいました。同窓会役員の皆様におかれましては、想像するに葛藤・苦悶の期間であったと思われれます。ご苦勞頂き誠に大変ありがとうございます。この原稿を書いている1月20日の時点で、道内で4ヶ月前過去最多更新、まん防が要請されました。今後ともどちらに向かうかわからない状況ですが、開催できる方向に向かってくれることを切に祈念致しております。

しかし、日常が日常でなくなるのはこんなにも違和感を覚えるものかと、恐ろしささえ感じます。当たり前前とはなんぞや？と考えさせられます。10年に一度、だからしかたないわなあ、でも10年も前によくこの計り知れない難局を乗り越えたなあ、とも思います。東日本大震災、胆振東部地震もそうですが、人間の一生くらしいの尺度では計ることのできない地球の奥深さに改めて畏敬の念をいだきつつも、未来に続く道を模索することが課せられているということなのでしょう。今後とも皆無になることは考えにくいので、医療関係に従

# 同窓会によせて

南 仁

29期生・昭和56年卒

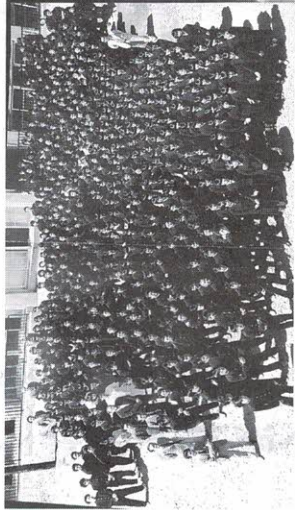
事される方々に有難みを感じながら、基本的な手洗い、消毒などの感染予防ルーティンをずっと継続していくことが重要なのでしよう。

2019年10月19日(土)パークホテルで、月寒高校同窓会は開催されました。翌年2020年は私たち29期の当番となっておりますので、下見を兼ねての参加でした。同期も数人参加しており、翌年に向けてイメージを高めることとなりました、その時は…。

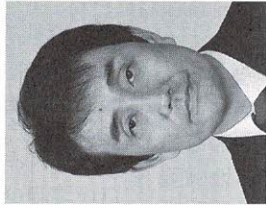
現在、ネットワークの広い同期女子の力強いご協力もありライングループが40人ほどとなっております。

今年は開催される前提ですが、2年延びたことで期せずして私たちの期はみな還暦前後の集まりとなります。皆で赤いちゃんちゃんこ…は思い描いたりもしますが、どこかしらに赤いワンピースのドレスコード？でもそれなりに映えるかな、とも思います。

10年ひと昔、40年よん昔(?)ではありますが、断片的にはさほど昔のこととしてではなく思い出されます。卒業したら皆が全員集まる事はほんとに無いことなんですね。感慨深いもの



とともに一抹の寂しさも感じます。おもいでは美しすぎて、いや美しすぎなくとも、若干手の届く？同窓会。私たち同期の人生も陸上トラックなる第三から四？コーナーといったところでしようか、星空の下のソーシャルディスタンスを保ちながら、学び舎をともしたもの相集い、限られたひとときですが、今後の人生の一助、スパイスとなり、彩りをそえるものとなれば幸いです。来るべき日はよそ様に迷惑はかけないのは暗黙の了解ですが、大人であることをいつとき忘れて、ベイビーカムバック！



# 月寒高校との縁

大 浦 充

30期生・昭和57年卒

同窓会誌「つきさつぷ」38号の発行に当たり、お力添えをいただいた皆様にごより感謝申し上げます。また、役員の皆様、担当された関係者の方々には編集作業等、ご苦勞様でした。

次年度、当番幹事期を迎え原稿を依頼されました。33度目の寄稿になります。30年ほど前に寄稿した際に掲載していただいた写真には、妻と幼い頃の息子2人とともに写っておりますが、現在は4人とも同窓生となり不思議な縁を感じます。

月寒高校には、とても深い縁があります。私を含め、合計8人の親族が月寒高校を卒業しました。特に私は高校在学の三年間のほかに教育実習、時間講師でもお世話になり、その後12年間教諭としても勤務させていただきました。私の人生のとても長い時間を過ごしました。

その時々で、語り尽くせない程多くの思い出がありました。その中でも教諭として過ごさせていただいた時に、バスケットボール部の顧問として2011年秋田県、2013年大分県の2度、インターハイに出場することが出来たことは、大変な喜びでありました。生徒とともに多くの時間とエネルギーを費やしたこと

が報われた瞬間でした。当時の「つきさつぷ」にも取り上げていただき、出場を果たした選手・保護者の皆様には改めて感謝申し上げます。また、多くのOBからも御支援や励ましのお言葉をいただきました。その年に行われた同期会では、その場で声をかけてくれた同期生達に、多くの支援をいただき遠征費の補助とさせていただきます。ここでも同窓生の絆を感じました。部員の数も多かったため遠征費の総出に苦勞していたので大変助かりました。残念ながら、全国大会で勝つことが出来ませんでした。が、貴重な経験をさせていただきました。インターハイに出られなかった世代も大変優秀な選手が多く在籍し全道大会で活躍しています。現在も多くのOBが活躍しています。また、OBチームも誕生し、今でも多くの卒業生との交流を楽しんでおります。

さて、私が高校生として通学していた頃は、現在の校舎に建て変わっていく最中で、一部レング色の校舎がまだ残っていました。夏は暑く冬は寒いプレハブ校舎で1年間過ごしたことも、今となってはいい思い出です。地下鉄東豊

線も開通しておらず、多くの生徒はバス通学でした。近隣のマンションも無く、生徒玄関からは藻岩山がきれいに見えていたように記憶しています。現在のようなコンビニはありませんでした。が、学校の近くに商店があり、部活の帰りに立ち寄り、雑談をしていました。高校生活では、嫌なことや残念なことも沢山あったはずですが、思い出されるのは楽しい思い出ばかりです。

月寒高校に関わった全ての期間で、「人」に恵まれたと思います。それは同級生であり、同僚であり、教子であり、全ての関係者です。これは、月寒高校が持っている言葉には表現しにくい文化・風土が関係しているのかもしれない。色々ご迷惑をお掛けした人々もいらっしやると思いますが、この紙面を借りてお詫び申し上げます。

これからも、この文化を継承しながら月寒高校および同窓会が益々発展することを願っています。





## 「繋がり」

佐々木 貴志

40期生・平成4年卒

今からちょうど10年前(正確には11年前)に行われた平成23年度札幌月寒高校同窓会に参加させていただきました。恥ずかしながら、この時初めて母校・月寒高校の同窓会というものが斯くも盛大に長い歴史を持って行われているのを知りました。

…卒業して10数年経ったある日、在校当時から野球部とサッカー部の主将という共通点もあり、卒業してからも『繋がり』があった友人がふとした会話の中で、「野球部の同期が監督として月高に戻ってきたみたい。」と話していました。

その時は何気なく聞いていました。

…そして数か月が経ち、いつものように月高の近くの国道36号線を車で通行中にふと、「そういえば監督やってるんだよね。」と。

ふらっとグラウンドに立ち寄り懐かしい練習風景を拝見させていただきました。するとほんのりですが、

確かに見覚えのある顔がベンチから出てきました。練習終わりに声をかけ、近況を報告して連絡先を交換して『繋がり』しました。

…そして数年後、その『繋がり』から札幌月寒高校同窓会を知りました。

幹事会から始まり、卒業から20年近く経過している懐かしいクラスの仲間や共に戦った部活動の盟友などに連絡を取り、『繋がり』が『繋がり』何とかその日を迎えることができました。そしてまたその『繋がり』からクラス会へと発展し、さらなる『繋がり』を生みました。

この同窓会の年、2011年(平成23年)というのは東日本大震災という未曾有の災禍が起きてしまった年です。日本全体が復興に向け『繋がり』を強く意識をし、これまでもこれから全て忘れず心の内に持つて今を生きる。と強く誓った年でした。

そして10年経った現在はコロナウイルスという新たな困難が発生いたしました。

人々が距離を置いて暮らすという10年前とは正反対の生活を余儀なくされています。

辛く悲しく寂しい状況です。

しかしこれまで培ってきた『繋がり』は決して色褪せることなく強くはつきりとした色彩の『絆』として人々を結び付けている事でしょう。

ふとした日常から『繋がり』が『絆』になりました。

これからもこの『繋がり』を意識し、『絆』を感じて生きていきたいと思えます。

今年また、同窓会に携わらせて頂けることに幸せを感じ、また多くの『繋がり』ができることを期待してわずかながら尽力させていただきます。

末筆にはなりますが、同窓会事務局の方々には格別のご深慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

ありがとうございます。

## 「変わらないもの」

櫻井 絵夢

44期生・平成8年卒

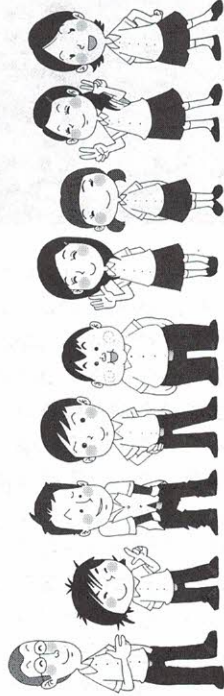
月高生として過ごした日々  
の忘れかけていた記憶が鮮明に蘇ったのは、自分が教員という立場で母校に帰ってきた時でした。高校時代に何気ない毎日を過ごした校舎は、それから二十年あまりが経ったのに、校門をくぐり抜け再び一歩足を踏み入れたその時から突如タイムスリップしたかのよう  
に、当時のままの光景を呼び戻してくれました。「自分はこの月高で再び過ごすのだ。今度は教員という立場かを選んできていく番だ。」そう感じ、校舎内を一周しました。当時と変わらないあの複雑な造り、あちらこちらから響き渡る部活動の声、暖房はスチーム管がむき出しで今にもシューシューと音が聞こえてきそうな教室、目に飛び込んでくるもの全てが「懐かしい」の一言でした。

新学期が始まると慌ただしさの中、同窓会の活動を改めて知ることになりました。卒業してから自分と月高の間には「空白の二十年」が存在し、その間も同窓の方々が絆を深めてくれてい

ただと感じる日々が続きました。年に一度の大懇親会はもちろんですが、同窓会入会式の開催、卒業式へのご臨席、部局活動の全国大会への応援・助成など様々な面でご尽力頂いていたことを改めて知ることができました。そうしていつの間にか「空白の二十年間」は「月高」を中心に様々なものがひとつにつながり、もはや空白ではなくなりました。さらに奇遇にも、現在は異動先の学校で当時の卒業担任と肩を並べて働かせて頂いております。しばしば月高での思い出話に花を咲かせ、当時を懐かしむ事ができるのも「月高」というつながりのお陰です。

思い出話をしていて感じるのは、月高生の気質そのものは私が過ごした時代から、おそらくそのもっと前から変わっていないということです。一生懸命に打ち込む際の集中力、ここぞと言うときにしつかりと力を発揮するたくましさ、明るく元氣な雰囲気、場を盛り上げる協調性と行動力、月高の魅力は健在でした。そのような伝統ある母校に直

に携わる事ができたことは私の中で大きな喜びです。また、同窓会事務局という立場で円滑に事業を進められるようお手伝いさせて頂く中で新たな発見もあり、様々なことを学ばせて頂く貴重な機会となりましたことに感謝申し上げます。末筆ではございますが、今後とも月高同窓会のさらなる発展をお祈り申し上げます。



### 北海道札幌月寒高等学校同窓会則

#### 第1章 総 則

- 第1条 本会は北海道札幌月寒高等学校同窓会と称し、事務局を本校におく。
- 第2条 本会は次の会員をもって構成する。
1. 正会員 本校卒業生及び本校に在学したもので役員会において承認されたものとす。
  2. 名誉会員 本校の現職員及び旧職員とする。
- 第3条 本会は会員相互の親睦を図り教養を高め、あわせて母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達成するための次の事項を行う。
1. 会員相互の連絡
  2. レクリエーション
  3. 会誌及び会員名簿の発行
  4. 母校の後援
  5. その他の目的を達成するために必要と認められる活動

#### 第2章 役 員

- 第5条 本会に次の役員をおく。
- |         |     |         |     |
|---------|-----|---------|-----|
| 1. 顧問   | 若干名 | 6. 副幹事長 | 若干名 |
| 2. 名誉会長 | 1 名 | 7. 会計   | 2 名 |
| 3. 会長   | 1 名 | 8. 会計監査 | 2 名 |
| 4. 副会長  | 若干名 | 9. 書記   | 若干名 |
| 5. 幹事長  | 1 名 | 10. 幹事  | 若干名 |
- 第6条 役員は次の通りとする。
1. 名誉会長は本校長を推す。
  2. 会長、副会長、幹事長、副幹事長及び会計監査は役員会において正会員中より選出し総会において承認する。
  3. 書記は会長が委嘱する。
  4. 幹事は、卒業各期より各クラス1名を選出する。
  5. 顧問は、会長が委嘱する。ただし少なくとも1名は現職員とする。
- 第7条 役員は次のとおりとする。
1. 会長は、本会を代表し、会務を統轄し役員会を主幹する。
  2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代行する。
  3. 会計は、本会の会計をつかさどる。
  4. 幹事長は、幹事会を主幹する。
  5. 副幹事長は、幹事長を補佐する。
  6. 会計監査は、本会の会計を監査する。
  7. 書記は、本会の庶務をつかさどる。
  8. 幹事は、幹事会を構成し、また、当該クラスの会員の連絡等に当たる。
- 第8条 役員は次のとおりとする。
1. 会長、副会長、幹事長、副幹事長及び会計監査の任期は2年間とする。ただし、再選は妨げない。

#### 第3章 機 関

- 第9条 本会の目的を達成するための次の機関をおく。
1. 総 会
  2. 役員会
  3. 幹事会
  4. その他
- 第10条 総会は本会の最高決議機関である。
- 第11条 毎年、原則として年1回定例総会を開催する。
- 第12条 臨時総会を開催することができる。
- 第13条 1. 会長が必要と認められた時、  
2. 幹事の3分の1以上、もしくは正会員の10分の1以上の連署による要求があった場合、
- 第14条 総会において、次のことを行う。
1. 会務の報告
  2. 役員改選
  3. 決算報告及び予算案の審議
  4. 事業計画の審議
  5. その他の必要事項の審議
- 第15条 役員会は、総会に準ずる決議機関として開催する。
- 第16条 役員は次のことを行う。
1. 会長から委任された事項についての審議
  2. その他、必要な事項の審議
- 第17条 会長または役員会は、必要と認める機関を設けることができる。
- 第18条 第9条に掲げる機関における議事は、出席正会員の過半数でこれを決する。可決回数が多い場合は、議長の決することによる。
- 第19条 本会の経費は、会費、寄付金、及びその他の収入をもってあてられるものとする。
- 第20条 本会会費は正会員1名に5,000円とし、入会の時にこれを納入しなければならない。
- 第21条 役員が必要と認め、さらに総会がこれを承認した場合は臨時に会費を徴収することができ。
- 第22条 本会の会計年度は、4月1日より翌年の3月31日とする。
- 第23条 会計細則は別に定める。

#### 第4章 会 計

- 第18条 本会の経費は、会費、寄付金、及びその他の収入をもってあてられるものとする。
- 第19条 本会会費は正会員1名に5,000円とし、入会の時にこれを納入しなければならない。
- 第20条 役員が必要と認め、さらに総会がこれを承認した場合は臨時に会費を徴収することができ。
- 第21条 本会の会計年度は、4月1日より翌年の3月31日とする。
- 第22条 会計細則は別に定める。

#### 附 則

- 本会則は昭和56年8月23日より施行する。
- 平成4年8月21日会則一部改正  
平成15年10月24日会則一部改正  
平成20年10月18日会則一部改正  
平成29年10月3日会則一部改正  
令和2年11月5日会則一部改正

## ご協力ありがとうございました

文化体育後援会（全日制）・後援会（定時制）助成及び郵便協力費にご賛同いただいた方です。

昭和38年卒 伊藤 信行 さん （令和3年2月～令和4年1月受付分）

## 2022年度 第43回同窓会定例総会・懇親会のご案内

当番幹事は29期(S56卒)・30期(S57卒)・39期(H3卒)・40期(H4卒)

49期(H13卒)・50期(H14卒)・59期(H23卒)・60期(H24卒)です

◎2022年9月24日(土) 18:00より (受付開始 17:00より)

◎札幌パークホテル (中央区南10条西3丁目)



多くの同窓生が集える会にしようとして、役員・幹事ともども努力しております。同窓会には当番期以外の卒業期の皆さまにもぜひ参加していただき、世代を越えた交流ができれば幸いです。皆さま是非お誘い合わせのうえご参加ください。また、二次会をそれぞれのクラス会や同期会として設定していただく案もあろうかと思えます。総会・懇親会への出席が増え、さらに楽しく盛大な会になるよう役員、当番幹事ともに頑張りますのでよろしくお願いたします。

令和2年度 同窓会事業報告

[2021年2月1日～2022年2月28日]

Table with columns: 年月日, 区分, 内容, 参考. Contains a detailed list of alumni activities from February 2021 to February 2022, including general assemblies, newsletters, and social events.

令和2年度 会計収支決算書

[令和3年3月31日現在] (単位:円)

Income Statement for FY2022. Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(Δ), 摘要. Shows total income of 6,026,184 and total expenses of 6,458,258.

支出の部

Expense Statement for FY2022. Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(Δ), 摘要. Details expenses for communication, commemorative items, printing, and other activities.

(収入決算額) (支出決算額) (繰越金)

¥6,458,258円 - ¥1,089,106円 = ¥5,369,152円

令和3年度 中間会計収支決算書

[令和3年11月30日現在] (単位:円)

Income Statement for FY2023 (interim). Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(Δ), 摘要. Shows total income of 1,675,000 and total expenses of 7,088,175.

支出の部

Expense Statement for FY2023 (interim). Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(Δ), 摘要. Details expenses for communication, commemorative items, printing, and other activities.

(収入決算額) (支出決算額) (繰越金)

¥7,088,175円 - ¥265,000円 = ¥6,823,175円

記念事業積立金収支決算書

(単位:円)

Memorial Fund Income Statement. Table with columns: 繰越金, 令和3年度利息, 令和3年度積立金, 令和3年度支出, 令和3年度現在高. Shows a balance of ¥8,491,987 and a current balance of ¥8,991,987.

会計監査報告

令和2年度北海道札幌月寒高等学校同窓会会計について経理並びにその関係書類について監査の結果、適正に処理されていることを認めます。 令和3年5月15日 会計監査 野田 茂子

令和4年度 中間会計収支決算書 (案)

[令和4年1月31日現在] (単位:円)

Income Statement for FY2024 (draft). Table with columns: 科目, 4年度予算額, 摘要. Shows total income of 6,673,175 and total expenses of 8,313,213.

支出の部

Expense Statement for FY2024 (draft). Table with columns: 科目, 4年度予算額, 摘要. Details expenses for communication, commemorative items, printing, and other activities.

令和4年度 同窓会事業計画

- 1. 会員相互の連絡をより緊密にする。
①大懇親会には、より多くの会員に出席してもらおうようにする。
・案内範囲の拡大(定時制、幹事期への案内を検討する)
・その他過去に幹事になった方々や新会員(新幹事)になった方々への対応を検討する。
②同窓会報『つきさっぷ』第39号を発行し、広く配布する。
③社会的に母校の栄誉を高めるため活動した会員に同窓会褒賞を授与する。
・選考方法、選考基準などから検討を開始する。
④上記の①から④について効果的、効果的に行うため同窓会会員名簿の充実を図る。
・名簿のデータの電子化を促進する。
⑤総会の運営を円滑にするため、当番幹事を決め会議を開催する。(次年度は 29/30期・39/40期・49/50期・59/60期)
⑥同窓会公式ホームページの維持・内容の充実を図り、次世代の同窓会会員との情報共有拠点となるようにする。
・HPのリニューアルと更新作業に取り組む。
⑦事業の計画を迅速、効果的に実施できるよう役員会組織を改編し、役員会を實體に応じて随時開催する。
⑧「月寒丘ひまわり基金」審議会に参加する。
2. 母校への後援を行う。
①文化体育後援会(全日制)・後援会(定時制)への助成を行う。
②全国大会・国体、またはそれに準じる権威のある大会に出場する在校生の活動を助成する。
・壮行会にてお渡しする。
③「月寒丘ひまわり基金」審議会に参加する。
3. 同窓会入会式を挙行し、新会員(卒業生)へ記念品を贈呈する。
・記念品を検討する。
4. その他
①同窓生として繋がることのできる同窓会を目指し、活動の充実を図る。
②その他

